

会議録

ぎふ清流国体恵那市実行委員会 第6回総務・広報・市民運動専門委員会

日 時 平成23年 6月30日 (木)

14時00分 開会

場 所 恵那市防災センター

3階 防災研修室

1 開 会

○事務局（小栗本部長）

皆さんこんにちは。

ただいまより、ぎふ清流国体恵那市実行委員会第6回総務・広報・市民運動専門委員会を開催したいと思います。

今年度は途中開催がありまして、昨年度までは私たち事務局のほうも教育委員会のスポーツ課のところに国体準備室がありました。今年度はいよいよ国体開催の年になるということで、4月に組織改正としまして、今、市長部局とともに国体推進本部のほうを立ち上げました。私は本部長を務めさせていただきます小栗と申します。どうぞよろしく願いいたします。それに伴いまして事務所のほうも、岩村振興事務所、教育委員会の中にあつたものを、今は本庁の隣の中コミュニティセンターの2階に事務所を構えておりますのでよろしく願いいたします。

2 委員委嘱

○事務局

それでは、会に先立ちまして、委員の委嘱をさせていただきたいと思います。お手元の資料の1ページをご覧くださいでしょうか。実行委員会は実行委員さん198名で構成されておりますけれど、そのうち41名の方がこの総務・広報・市民運動専門委員会に属していただいております。今回、役職等の変更で、私どもでいうと、変更になった方への委嘱、それに加えて今回より新たに恵那市自治連合の各町の連合会長の皆様にこの委員会に加わっていただきましたので、よろしく願いいたします。

それでは、ただいまより市長から委嘱をいたしますので、皆さんの席の前に行きますのでお受け取りいただくようお願いいたします。

[各委員に委嘱書を朗読・交付]

○事務局 どうもありがとうございました。よろしく願いしたいと思います。

それでは、初めに国体実行委員会の会長である恵那市長からごあいさつを申し上げます。

3 あいさつ

○可知会長 皆さんこんにちは。大変暑い毎日が続いております。先ほど皆さんも言っておりましたが、とても暑い状況でありました。県下はどこも暑いなと思って参りましたけ

れども。

本日は、総務・広報・市民運動専門委員会を開催させていただきました。市川委員長さんからもあると思いますけれども、よろしく願いいたします。先ほど、委嘱書を交付させていただきましたが、本部長が述懐しましたように、今回は、交代された方々と、そして新たに自治連合会の会長さんをお願いいたしました。これは特に市民参加をしていきたいということでございますので、ぜひよろしく願いいたします。

まず、6月3日から6月5日まで3日間、第58回全日本勤労者弓道大会をまきがね公園の特設会場で実施をさせていただきました。大会は大変盛況でございまして、全国から70チーム251名の選手が参加していただき、東日本の震災がございましたので、東北6県の県が参加できなかったのが平年より少なかったと思いますけれども、それでも大変盛会で、会場についても後ほど太田さんからお話があるかと思っておりますけれども、大変よかったという声をお聞きしております。大会役員が92名、それからボランティアの皆さん方で700名、一般の観戦者が約1,000名という規模で開催をさせていただきました。選手の皆さんは70チームで251名全国から来ていただいたということでございます。

この最後の6月5日に交流会がございました。恵那峡グランドホテルで開催させていただきましたが、役員の方々と、これから全国の勤労者弓道大会を開催する、いわゆるこれから開催する県の、東京都、長崎県そして和歌山県の県の方々も来ておられましたが、私のところへいろんな話をいただきました。まず、開会式がすばらしかったという話でした。私はほかのところを見に行っているわけではありませんので、それが当たり前かなと思っておりましたけれども、大変すばらしい開会式だったということと、あと東京から長崎、和歌山の方々が、これは困ったと、これから岐阜県の恵那市に倣っていかないと大変だなという話までお聞きしました。それですが、非常に感じたことは、グランドホテルに行ったときに皆さんが一瞬外を見られて、おっ、これはすばらしい景色だなと、こういうことも言われました。私はつい自慢になってしまっていて、これはこうですという説明をついさせていただきます。そのように、恵那市の自然の豊かさを全国の皆さんに大変アピールできたと、こう思っております。その上に大会運営をしっかりやっていただき、本当にいい大会だったと思います。それで、役員の皆さん方も、来年はバッチリですねと、こういう一言をいただきました。ボランティアの皆さんも一生懸命やっていただきました。

ただ、私が一番感じたことは、一般の市民の皆さんの盛り上がりがもう一つ欠けてい

ることです。スケートのリハーサル大会もそうでしたけれども、一般の参加者が少なかった。やはり国体、せつかくのチャンスですから、市民の皆さんに関心を持っていただきまして、会場に来れなくても選手や役員の皆さんが市内におられますので声をかけていただくとか、そういうことももてなしの一つだと思っておりますので、何とかその辺を盛り上げて、もうあと7カ月しかございませんので、スケート競技会についてはそうした盛り上がりをしっかり持っていきたいと思っております。全国の方々が来られて初めて恵那を知っていただくわけでございますので、そこをいい感じで受け入れて、そして恵那市の活性化に向けて盛り上げていく必要があると思っております。

弓道の大会を開くことによって初めて恵那市を知った人がたくさん、またすばらしいというお話を聞きました。これは恵那市にとっては一番大事な、これからの市の交流人口の拡大のため必要なことだと思っておりますし、せつかくチャンスをいただいたわけですので、これが必要だと思っておりますので、どうかその辺もよろしく願いたいと思っております。いよいよスケートまでは7カ月を切っていることでございますので、ぜひそれに向けて、まずはスケート競技会をしっかり持って、そして10月から始まります弓道大会につなげていきたいと思っております。

とりわけスケート競技会はぎふ清流国体の最初の競技であります。ですから、岐阜県としても力を入れている、これはあります。ここでしっかり成果を上げることが、ぎふ清流国体全体の成功につながっていくということでもありますので、まず恵那市のスピードスケート競技会が成功裏に終わる、これが一番大事なことです。ぜひそういうことで専門委員会の皆さん方にもお力添えをいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

くどくどと申し上げましたけれども、ぜひ市民、市を挙げての大会にしたいと思っておりますのでよろしく願います。きょうはどうもありがとうございました。

○事務局 どうもありがとうございました。

それでは、続きまして委員長の市川様、ごあいさつをお願いいたします。

○市川委員長 皆様こんにちは。当委員会の委員長を仰せつかっております市川と申します。

この6月のさなかに、もうきょうのことですが、真夏の気温を示しているというのは、気象観測20年ぶりということが報道されておりましたが、そういう暑さの中にお集まりをいただきましてありがとうございます。

そして、今、14名の方が新たに委嘱をされましたが、今市長からもあいさつがござい

ましたように明年1月のスケート、そして引き続く弓道大会ということで、それぞれ市民こぞって参加ができるような形をとっていただくために、各地域の自治連合会長様、さらに地域協議会の方々、いずれにいたしましても地域の取り組みの最責任者というようなこととございますので、本日の協議事項もそうでございますが、今後はいろいろとご無理を申し上げる事項が多いと思います。そして、この大会が二つの種目を終わった、その終わっただけではいけなくて、この大会を通じてそれぞれの地域がスケートなり弓道の大会に市民がいろんな形で結集をし、その中で培ったものを今後の恵那市のあらゆるスポーツの振興ですとか、あるいは地域のまちづくりにつなげていってこそ、この国体の二つの種目をやった意味があるのかなと、私はこんなことを思っておりますので、後ほど協議事項ではしんどい課題もたくさん提起されると思いますが、ひとつ十分ご議論いただいて、ぜひお聞き取りをいただきながら、この委員会が目的を達成するように皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしまして、委員長としてのあいさつに代えます。

本日の委員会、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。多くの方々がかかわられましたので自己紹介をいただくといいわけですが、時間の関係で、お手元に席次表を配付しておりますので、それに代えさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、続きまして、会の成立を国体推進本部次長の小木曾よりご報告させていただきます。

○小木曾本部次長 こんにちは、小木曾でございます。昨年同様よろしく願いいたします。

それでは、本日の会議の成立を報告させていただきます。委員総数41名、うち重複が2名で39名でございます。本日のご出席26名、委任状7通をいただいております。合計33でございます。専門委員会規程第4条第2項の規定により、委員の過半数の出席がありますので本日の会が成立していることを報告いたします。よろしく願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、ただいまより議事に入りたいと思います。これより議長を委員長市川様をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○市川委員長 それでは、この次第に添いまして議事を進めさせていただきます。

まず、4の報告事項については二つございますが、それぞれ報告をいただいて一括ご質問等がありましたら承っていききたいと思います。

では、事務局、報告事項をお願いします。

4 報告事項

○事務局 失礼します。国体推進本部の小木曾といいます。よろしくお願いいたします。

資料の2ページをご覧ください。今月3日から5日にまきがね公園体育館特設弓道場で、第58回全日本勤労者弓道選手権大会を開催いたしました。全国から70チーム、251名の選手、監督に参加いただきました。

6月3日金曜日に長島小学校体育館にて審判会議、監督会議を開催し、場所を恵那文化センターに移動し開会式を開催いたしました。開会式のアトラクションでは恵那市消防音楽隊や恵那市少年少女合唱団、市内で音楽活動を行っている加藤規子さんに出演していただきまして、参加してくれた選手等から、よい開会式で感動したという感想をいただきました。

今回、きれいな花で選手、監督、関係者を迎えようということで、約460個の花プランターを飾りました。こちらの花は、各地域や小中学校の皆さんに大切に育てていただきました。選手の応援のぼり旗も設置いたしましたが、こちらも各地域小中学校の皆さんに書いていただきました。こちらの応援のぼり旗は大会期間中に選手へ持って帰っていただきました。

6月4日から競技が始まりましたが、すべて仮設でつくられた弓道場に驚いている選手や観客の方がたくさんいらっしゃいました。岐阜県からはイビデンと川崎重工岐阜の2チームが参加し、川崎重工岐阜は残念ながら2次予選敗退でしたが、イビデンが見事優勝いたしました。こちらの2チームには国体強化指定選手が多く在籍しているため、ことし行われる山口国体、来年行われる岐阜国体が非常に楽しみです。

今大会には、多くの方にご協力をいただきました。競技補助員として恵那農業高校、中津川工業高校の生徒の皆さん、加子母、付知、明智のスポーツ少年団の皆さんにご協力をいただきました。グラウンドに設けられた地域交流広場では、恵那市の味を販売し、スポーツネットいわむら、ハンズ武並の皆さんにふるまい汁をつくっていただきました。アトラクションでは市内の幼稚園児、岩村城女太鼓、鳴子踊りチームの方にミナモダンス等のアトラクションを披露していただきました。ほかにも登録ボランティア、消防団、交通安全協会等の方に大会補助員としてご協力いただきました。多くの方に支えられて今大会を無事終了することができました。本当にありがとうございました。

3日間の来場者としましては、5ページに記載のとおり2,900人の方に来ていただきました。来年の国体では大会期間が長いためもっと多くの方に見に来ていただきたいと思っております。今大会を開催して、たくさんの方に多くのご意見やご要望をいただきました。来年の国体では皆様からいただいたご意見を大切に、市民総参加を目標に準備を進めていきたいと思っております。

簡単ですが、報告1につきましては以上でございます。

○市川委員長 次は、報告2お願いいたします。

○事務局 失礼します。国体推進本部の加藤といいます。よろしくお願いいたします。

私のほうからは、6ページになるんですけども、恵那市スポーツキャラクターの登場というところなんですけど、これは国体の開催を契機に、だれもがスポーツに馴染みを感じ、身近に取り組めるようにということで、昨年度なんですけど、小中学生を中心に恵那市スポーツキャラクターというものを募集しました。その結果、「ハナッキー&サリーナ」という2体のキャラクターに決定いたしました。ハナッキーといいますのは、恵那市の木ハナノキをモチーフにした鳥形の妖精です。サリーナといいますのは、恵那市の花ササユリをモチーフにした妖精で、ウサギの形の妖精になります。この下の写真にありますような着ぐるみを2体つくりましたので、先日行われました第7回市民体育大会総合開会式で初めてお披露目させていただいて登場いたしました。また、下のイラストにあるんですけども、こういった各スポーツのほうも順次つくって行って、今後各種スポーツイベント等でも参加して、皆様のほうに可愛がっていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○市川委員長 ありがとうございます。

報告1につきましては、先だつての弓道大会にそれぞれ写真等も挿入しながら大会全体の報告がなされました。これにつきまして、ご覧いただいた方、あるいは参加いただいた方の中で気がつかれたことや、本大会に合わせてこうするべきではないかといったようなことがありましたら、ご意見、ご報告といたしましうか意見を出していただければと思いますが、いかがでございますか。

橋本さん、どうぞ。マイクをお持ちします。

○橋本委員 開会式のほうですけど、一般の観客席がかなり空いておったという気がするんですけど、動員のほうはどんな動員をされたのかというのが1点と、お茶の表流儀の方が

開会式にも来られると思うんで、そうした場合の会場の湯道具は考えておいたほうがいいんじゃないかというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

○市川委員長 それでは事務局お願いします。

○事務局 今回の開会式には、各地域10名から20名というようなことでぜひ参加していただきたいということをお願いいたしました。そのほかには、公募だとかそういったもので・・参加という、そういう次第であります。おっしゃったように開会式も一般の方は少なかったというところがありました。また、今回、最後のほうで説明いたしますが、7月30日に決起大会を開きます。このときにはぜひ会場に多くの方が来ていただきたいということで、今のところ3,000名を超す方々に案内を送ることにしております。その一部は郵送で送りますし、そのほか例えば自治会長さん方については広報のところに同封して案内を出しますし、また商工会議所には会長と会頭さんの連名で、会員の事業所の皆様に案内を出すという、こういう措置でトータル3,000を超す案内を出す予定であります。どのぐらいの実際決起大会に来ていただけるかは未知数ですが、そういったことで、できるだけ多くの方に来ていただけるようにしたいと思っております。そのようにして、さらに本番では、これからもいろいろ皆様をお願いするわけですけれども、本当に一人でも大勢の方に来ていただくような努力をしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○市川委員長 質問者よろしいですか。ほかありませんか。

それでは、報告2のほうにつきましては、この日にスポーツキャラクターというのを先だって発表いたしまして、この国体と合わせながらこのスポーツキャラクターを活用していくということで報告されましたが、この点につきまして何かご質問なり意見ございませんか。

はい。それでは、後ほど全体を通して質問などを求めていくこともあろうかと思っておりますので、そのときをお願いします。

5 協議事項

○市川委員長 それでは協議事項に移ります。協議事項の1につきましては、全日本勤労者弓道選手権大会について、「それぞれの思い、これからに向けて」ということでございますが、事務局、これはどういうふうな進め方をしたらよろしいですか。協議事項1について、これからに向けてということですが、これは出席された皆さん方からいろんなご意

見を伺うということでもいいですか。

○事務局 はい、それで結構です。

○市川委員長 今、明智の橋本さんから、開会式についての状況と動員状況についてというお尋ねがありましたが、弓道大会を通されまして全般的に参加をされた方の中で感じられたこと、その上で来年の本大会にはこうあるべきではないかというようなことについて率直にご意見を伺いたいと思います。順次、お手を挙げていただければ発言をいただきたいと思いますが、ございませんか。

ご遠慮されているようですので、このことについてなしということであれば、今回の大会は万全だったのかなと、こんなふうにも理解をするわけですが。では、恵南地域、旧、真ん中と北側というような3地区で、まずはけいなんにつきましては三宅さん、ひとつ南の端ということでもよろしくをお願いします。

○三宅委員 この間の大会、僕は、一つ疑問に思ったんですが、差し支えないかなと思ったのは、3人並んで撃たれるわけですけれども、最初の人撃った後に当たると拍手がわくわけですけれども、僕は、次の人とかその次の人が撃つと、連携で動いてますので、あれ問題じゃないかなと思ったけど、大会の関係者の方も叩いてみえたんですが、あれはあれでいいんですかね。その辺ちょっと疑問に思いました。一人が終了してからプレーやるんならいいんですけれども。

○市川委員長 それでは、太田さん。

○太田委員 結論的に言いますと、それは大丈夫です。今、例えば、フラッシュ撮影につきましても、過去はフラッシュ撮影の不可というものがありました。しかし最近は、直接選手の目に入らないような対応をしていただければ、フラッシュ撮影もOKということですね。今回、皆さん感じられましたことは、多くの方に聞いたんですけども、意外と弓道の応援ってしっかりやるんだなと、大きい声を出すんだなという声を聞きました。やはり、チームになってますので、片方が例えば・・・おさめて、しっかり頑張って集中しているときに、片方の選手が立つときに拍手します。それで影響がないかということを心配されていると思いますけれども、選手は、あそこの辺に行きますと、非常に集中しておって、そういうことは余り関係ないようです。ですから、今、日体協は財団法人の改革ということで、第三者の方が見ても興味を持てるような大会をやってくださいということで、今後いろいろなことで改革をしてもらってますので、なお・・・その辺の応援の仕方も、今回の大会ルールでいいと思いますので、大変いい盛り上がりがありましたので。ですから、

次回もそういった形でやっていただけたら助かるなと思っております。

○市川委員長 競技の内容について、少し、静かなスポーツですので心配されたことがあったかと思いますが、といった例を含めながら意見があれば出していただきたいと思いますが、しばらく考え中ということでございましたら、東野の伊藤さん、ひとつよろしくお願ひします。

○伊藤委員 私も最終のところを見に行きました。僕・・弓道をいたしたものですからちょっと関心はあったんですけど、間延びするかなあという感じで見てたんですけど、進行は非常にスムーズに流れていっているという感じを受けました。ただ、非常に静かな中だけれども淡々と進んでいっている。だから、見ている、僕は飽きずに続けて見ていくことができたということで、僕は非常に満足して帰ってきました。いいとこだけ見たものだからそういう感じを受けていましたので、あんなことで進んでいければ非常にいいのかなという感想を、私は個人的には持ちました。

○市川委員長 ありがとうございます。それでは、実習地域を代表して田中さん一言お願ひします。

○田中委員 私も5日の日に観戦いたしました。午前中、模範演技ということで、大変興味を持って見ておりました。そのときに、物静かで、昔の能を見ているような静かな動作で、大変優雅というか格式があるものだというふうに思いました。ただ、観戦しておりました私の場所は観客席の後ろのほうでしたので、本当に的を射る姿が、的のほうに当たったときの音とのワアッという音でしかわかりませんでした。もうひとつ、○×の表示板が観客席側のほうにあった関係で、一番手前側の人と2人目ぐらいの的が全然見えませんでした。次回やる場合は、今度は近的でありましたけれども、近的と遠的というのかそういうのがある場合は、もう少し観客席側に段差をつけたり、2階席を増やして全体が見えるような、見て楽しめるそういったセットしていただきたいと思ひました。

以上です。

○市川委員長 若干今の中で、会場の近的の場合の、観客席と競技場の配置問題だと思ひますが、これは今質問が出たように見にくいというところが、恐らく上のほうの観覧席はいいと思ひますが、下についてはそういう問題点があると。この辺は本大会に合わせて検討されると思ひますが、当面どんなことを考えてみえるか。もしもお答えがいただければ。

どうぞ。

○事務局 飛ぶところにボードがあつて、少しそれに隠れて見にくかったと思ひます。私

も最初にそう思いました。ずらすことはできないかということのをちょっと聞いてみたんですけど、もう少し、的のところにボードがありましたけれど、危険性を防止するわけでしたかね。そういうことで、どうしても必要だという話があつて動かすことができなかったんですけども、あの点どうですか、改善できますかね。

○太田委員 競技場でいいますと、的のそばにある看的防護板と看的表示板というのがありますが、それより移動することはできません、基本的に。ですが、今の言われた観客席の問題ですね、これは次回の国体の折には、やはり階段式に観覧席を設けて後ろの方も展開が見えるようにというふうにはしていただきたいと思っております。

○事務局 今回の観客席はいろんな考え方があつて、今まだ検討中です。今2階と下は平地になってまして、下の平地のところに階段式の観客席を設けるということに、そういうご意見だと思いますが、もしそうするとやっぱり段差を設けて、さらにそこには通路をつくる必要があつて、さらに安全性のためにある程度段も広くとるということはあります。今回の場合、平場ですので、前に座って後ろが立ち見で大勢が見えるというような状況ですが、もし階段で傾斜をつけましたら、後ろにはもう立って見ることはできませんので、そういった大勢の方が見れるということ、それから安全性の問題、それから今のおっしゃったような見やすい、見にくいということも含めて、これからまた詳細に検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○市川委員長 協議1につきましては、印象を中心にお話しいただいたんですが、観覧席の問題と、今回、近的だけに絞られたということでございますので、本大会は遠的を含めて2種目ということですから、観客は少しは分かれると思っておりますので、そんなことを含めた見やすい観客席についてご検討いただくということで。この項につきましては終わりました、協議事項2について事務局から説明をいただきます。

○事務局 それでは、その前にミナモ体操がありましたけれども、まだ時間が経過しておりませんので、協議2を行ってからミナモ体操をやっていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは協議2のほうで8ページになりますが、ぎふ清流国体スピードスケート競技会実施計画ということで、いよいよスピードスケートの本番があと7カ月ということに迫ったということで、具体的な実施のための計画を皆さんで検討していただいたということで提案をさせていただきました。まず一番上に、「国体成功に向けた2つの柱」ということで、国体を成功に導くためには、まず第1には、柱1ですが、「競技会の確実な運営」、

これは欠かすことができないことですので、スケート連盟と強力な市とのパートナーシップによりまして、競技をしっかりと確実に行うということ。

それから、柱の2といたしまして、これに「市民総参加による集客力の向上」、「市民総参加」、市民の参加をどうやって図るのか、これが欠かすことのできない柱の2ということで、幾ら競技だけがスムーズにいても、それを見る観客側の方がいなければ、やっぱりスポーツの祭典としては不十分だということで、この競技会の確実な運営、市民総参加、この2つがなされてこそ国体大成功となるということで、柱のこの2つをやっているという計画であります。

2番目に、この「二つの柱を実現するために」ということで、競技会の確実な運営につきましても、競技役員体制の充実だとか、今、上に書かれているようなしっかりとした会場設備、整備を行うというようなことで十分な準備を進めていきたいと思っております。

2番目に、「市民総参加による集客力の向上」ということで、これが総務・広報・市民運動専門委員会の皆さんに審議していただく事項になるかと思えます。

市民総参加をどうやって図っていくかということですが、口に言うことはあれなんですけど、なかなか難しい点ではありますけれど、どうしてもこれを実現しなければならないというふうに考えております。一つは、アにありますように登録ボランティア、今、エナジークラブというふうに呼んでおります。これもこの実行委員会の皆様にご協力いただきまして大変多くの方に登録をしていただきました。今現在でいうと350名を超している状況でございます。この方々も何とか増やしまして、大会運営に携わっていただくということがまず第1点であります。

そしてイのほうであります、新しく皆さんに提案したい、ご検討いただきたい事項であります。応援ボランティアということで、地域だとか学校のボランティアを1日ボランティアというふうに言ってもいいかと思えますが、そうしたものを組織していきたいというものであります。

まず1つ目には、地域応援ボランティアということで、13地域で地域協議会や自治連合会の皆様が何とか協力をしていただいて、自治会を中心に地域の応援ボランティアの組織化を図っていくということがまず第1ということになります。

その次に、各種団体応援ボランティアということで、この実行委員会に多くの団体の代表者の皆様が入っていただいておりますので、その傘下の会員の応援ボランティアを募っていただく、組織化を図るということになります。

そして3つ目には、学校応援ボランティアということで、小中学校のボランティアを組織化するというので、今は大体1日当たり500人ぐらいの学校の生徒を予定しておりますが、さらに必要とあれば、これも広げていきたいというふうに考えております。

この3つの市民ボランティア、応援ボランティアを組織することによって、一人でも多くの市民の皆様方に実際に会場に来ていただいて、それが国体の市内外における発信にもつながりますし、生涯スポーツの振興ということにも、とにかく大勢の方に見てもらわないことには未来へつながっていきませんので、この点については本当に皆様にお世話かけますけれど、ぜひ何とか組織化をしていきたいと思っておりますので、よろしくご審議をお願いしたいと思います。

そして②のほうですが、国体のさらなる魅力アップのためのイベント実施ということで、応援ボランティアということで市民の皆様方に募るわけですが、今、国体の競技の魅力ということでそれをぜひ見てきてくださいということで募っていくわけですが、国体だけじゃなしにそれに加えてさらにこういうことがあるよということであれば、当然来ていただけるわけですので、そういったものも国体に加えて魅力アップを図っていききたいというのが②であります。ここにありますように、それがグルメ祭りの開催ということで、何といても、国体を見ながら何かのイベントをするということであれば、食べ物であれば、皆さんどうしてもお昼を食べたりされるわけですので、国体と十分つながりを持ったイベントになるということで、このグルメ祭りを交流広場で開催したらどうかということであります。今までも、バザーの開催はしてはしておりますが、さらにこれを充実させて大グルメ祭りというような形に持っていけたらどうだろうということであります。9ページにありますように、名称につきましてはこれは仮称で、これから一番内容に即したものにしていこうと思っておりますが、ここでは一番目玉として東北の物産あるいは食事、そういったものも加えるというようなことで「復興支援・がんばろう東北！大グルメまつり」というような仮称をつけておりますけれど、これについては内容に合わせて一番適切な名称にしていくということであります。

3つほど内容例ということで、ここで挙げております。内容例とは書いてありますが、ぜひ私どもとしては実現したいという思いでここに書かせていただいております。

まず1つは、13地域にこのグルメのバザーあるいは物産のバザーを出していただきたいという、こういう思いであります。恵那市の観光協会にも既に行って話をしておりますが、先日、鎌田観光協会の会長さんにもお会いしてまいりました。鎌田会長さんも、ぜ

ひ観光協会としても、観光協会の支部としてもバックアップをするので自治連合会とタイアップして13地域で何とかやりたいなということをおっしゃっていただいておりますので、ぜひ自治連合会の皆さんにも大変ご苦勞をかけるわけですが、連合会だけではなくて地域協議会やあるいは観光協会の支部、そしてタイアップして、何とかこういったものを出していただきたいということが1つの提案であります。なかなか地域によっては、そうは言っても出すものがないとか、そういったことがきつとあるかと思いますが、例えば、その地域の中の商店街と結びついて、ある商店のお菓子で物を出していただく。例えば、連合会だとか観光協会の支部の方は人手として出て一緒にこのグルメを応援していただくとか、そういった考え方で結構かと思っておりますので、そういったことで地域で何かを出すというような考え方の中で検討していただければありがたいと思っております。

自治会単位の応援ボランティアということも募りますので、そういった方々も国体を見、自治会、地域の出しているそういったバザーもあるということになれば、こぞって行ってみようというような気にもなっていただくとと思っておりますので、ぜひ実現の方向でご検討いただければありがたいと思っております。

2番目の内容例に書いてありますのは、東北の物産を少し目玉的に加えたらどうかということでもあります。これについては、県の観光協会にご相談をしております、先日、県の観光協会が名古屋の栄の中日ビルに出しておりますけれど、飛騨・美濃観光センターというのがあります。そこに岐阜県と一緒に秋田県だとか岩手県だとかそういった各県が出しておりますので、そういったところにも声をかけて、実現性はこれからですが、少し目玉的なものもご用意したらどうかというのが、内容例の2に書かれているところであります。

それからその他と書いてありまして、ここにはまだ記載はしてありませんが、道の駅が今すごく充実しております、東濃の道の駅では10軒の駅がございます。どこにもかなり協力的になっていただけるということで、今少し担当者を通じて話をしておりますが、こういったことも考えておりますが、まずここに核になるのは何と言っても13地域のバザーが一番核となると思います。それに加えて、物産だったり、あるいは道の駅だったり、そういうところを付加するということなので、どうしてもやっぱり観光協会の支部、あるいは自治連合会、そういったところと協力した地域のバザー、これをぜひ実現したいと考えておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。それから、こういったいろんなところに情報収集したり声をかけたりしていくのは、4日間という長丁場ですので、

そういった意味で4日間通してやれるのが一番ベストではありますが、なかなかそういうことができにくいこともあらかじめ予想されますので、こういったいろんなところに声をかけながら何とか4日間を構成としたいと、こういう思いでおりますのでよろしく願いいたします。

それから、3つ目の数値目標ということですが、こういったことを行いながら何とか実現したいということで、こういう目標を立ててみました。まずは、競技関係者、選手、役員、家族、スケート連盟、あるいはスポーツ関係者、そういった方々で1日1,000人を何とか来ていただきたいということでもあります。選手につきましては、八戸の例でいきますと、23チームで314人の方が参加されておりましたけれど、そういった方の家族だとか応援の方だとかスポーツ関係者、そういったもので1日1,000人は出ていただきたいなというふうには思っております。それから応援ボランティアのほうですが、これが自治会だとか地域の応援ボランティア、それから各種団体ということで、実行委員会の皆様にぜひご協力いただいて、傘下の会員の皆さんを応援ボランティアということで参加を呼びかけていただきたいということ。それと学校のほうにつきましても、今のところ1日500人というような計画を立てておりますが、場合によっては500人以上になるかもしれませんけれど、そういったものを含めて大げさですけど1日1,200人、それからそのほかに組織されていない一般の観戦者、そういった方々が800人ぐらいは欲しいなということで、1日3,000人、4日間で1万2,000人ということになりますが、先日の3月議会でも1万人は4日間ですけど欲しいなという、そういうご答弁をいただいておりますが、この目標期間には1万2,000人になりますが、1万人から1万2,000人はぜひこういったような方向で呼んでいきたいということでもありますので、ぜひ前向きなご検討をお願いしたいと思います。

最後に4番目ですが、こういった方々に来ていただいた場合、昼食だとか、あるいはバス、そういったものを用意しなければいけません。そういったことで、まずクリスタルパーク周辺では、この間のJOCのときには、入って一段下がったところがバザーのブロックになっていたかと思いますが、やっぱり皆さんのご意見を聞くと、上のほうに持っていかないと難しいという。あるいは、できれば会場の中でもあるといいなというようなご意見をいただいております。そういうことで、少なくとも上の段に持っていく必要がありますので、そういったことを加味して400台ぐらいは下にいくと。それからそこには選手、役員を中心に据えて、そのほかの観客の方は工業団地に駐車場を設けてそれを会場と

のシャトルバスでつなげていきたいという、こういった考えもしております。そのほかバスということでシャトルバス、会場と工業団地あるいは恵那駅と会場という結ぶものもありますが、そのほかに地域では応援ボランティアの組織をさせていただきますので、各地域にも送迎バスを出していきたいという、こういう計画を考えております。13地域で13台になるのか、あるいは例えば串原と岩村で1台だとか、そういったことはこれから検討していくわけですが、とにかく地域に出していきたいということであります。あと10ページ、11ページがありますけれど、こういったことで今回この事柄をお願いしたいということで、7月から8月にかけて各自治連合会にも回らせていただきますが、・・・にも連合会のほうにお邪魔をしてここに10ページにありますようなもので参加を募っていくということをやっていききたいと思います。その他11ページには、基礎資料ということで、今自治会の数あるいは世帯員の数といったもので、それを基本として、右側に各町の参加者の必要検討数字ということで、それぞれ、大井自治会は540以上、長島自治会292以上というようなことで、これは少なくとも検討数字であります、ある程度数字を見ながら目標を立てていく必要がありますので、こういったものを提案させていただきましたので、またご意見をいただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

それからすみません、市長ですが、これからまた公務がありますので、途中になりますが退席になりますが、よろしく願いいたします。

○市川委員長 協議2につきまして、ただいま事務局のほうから説明がございました。この協議2項につきましては、10ページの内容あるいは11ページの資料がございまして、それと関係いたしまして競技の進め方につきましては、「二つの柱を実現するために」ということで、その一つが市民総参加による集客力の向上ということ。この3つのボランティアのところの同じ3に数値目標というのがございます。これに基づいて、1日当たり3,000人の観客を動員していきたいということですが、競技関係者あるいは一般参加者については明確に区分されておりますが、応援ボランティアの自治会、各種団体、学校等について1,200人というふうになってはいますが、これをさらに11ページで見ると、1日当たり578ということですので、それを除く約700ぐらいが各種団体と学校ということになるのかなというふうに思いますが、そこでいきますと、まず自治会の関係についてそれぞれの自治会数と4日間通したところのお願いをしたいという点が11ページに掲げられておりますが、こうした課題につきまして、ご意見等がありましたらまず聞かせて

いただきたいと思います。とりわけ自治会、地域協議会の関係者からの質問がいいと思いますが、どうでしょうか。

○事務局 その前にすみません。お手元にお茶がありますけれど、熱中症になるといけませんので、どうぞふたを開けてもらって飲みながらお願いします。

○市川委員長 恵那市も結構熱中症で運び込まれているという話は聞いておりますので、ぜひ飲みたいと思う前に飲めと、こういうことだそうですので、無理やり飲んでください、お願いします。

何かご質問ございませんか。はい、田中さん。

○田中委員 各種ボランティアの関係なんですけど、自治会のほうですけど、自治会数と世帯数が必ずしも合致して1日当たりの人数にはならないと思います。というのは、1つの自治会でもいろいろ差がありますので、やはり1日の人数の割り当てというのはかなり減ってくると思いますが、よろしいでしょうか。そこらあたり。

○事務局 その点は、今まだ目安ということで、まだそこまで考慮したような数字にはなっておりませんが、現実には数人の自治会もありますし、50人を超える自治会もありますので、そういうことは考慮しなければいけない点かなと思います。

それからもう1点は、ここに、見ていただくとわかりますように、大井、長島についてはすごく自治会数も多いんですね。大井は135ですし、長島73ということで、ですから、今の、市民の皆さんにお願いしていく方法についても、いろいろそういうやり方が違って来るかなというふうに思っております。例えば、少ないところであれば、必ずしも自治会に1人という言い方ではなくても、その地域が財産区の役員だったり、森林組合だったり、いろんな役員の方がお見えになりますので、そういった方を組織してお願いしたほうがやりやすいという点もあるかもしれませんし、例えば大井、長島でしたらそんなに役員がお見えになるわけではありませんし、周辺部の役員と一緒にだと思っておりますので、こういったところでこんなような数字を確保しようと思えば、どうしたって自治会のほうに重きを置かないと組織できないと。こういう地域によってもいろんな事情があるかと思っておりますので、まだこれはあくまでも目安ということの目標、基礎数字ということですので、今、田中さんがおっしゃっていただいたようなことも十分考慮しなければいけないと思います。

○市川委員長 11ページにつきましては、一応自治会の最大4日間の目標値ということから逆算をしていかれるわけですが、この数字のようにうまくいくのかいかないのかというのはいろいろ要件が違いますが、一応各地域の中でご検討いただく参考数値というふう

にひとつ思っていたいただいております。特に、今回、委員の皆さんの中では、自治連合会と地域協議会の方が大半を占められておりますが。

そのほか、各自治連合会、地域協議会の関係者の中から質問はございませんか。

それでは、ここの団体関係でいきますと、明野商工会、あるいは恵南商工会といったようなところの関係者もお見えになっておりますが、各種団体のほうからいきますと、それぞれの事業所についてのお願いコーナーがあるかと思いますが、ちょっとその辺の取り組みがもしもわかれば教えていただきたいと思っております。

どうですか。

○委員 先ほど、本部長のほうからも、商工会議所の今度の大会ですか、私どもの会報の中に同封させていただいて周知していくというようなことで、あすの会報発送に同封させていただくというようなことで、いろいろと周知させていただくようにしております。ボランティアにつきましても、そういった形で、今お手伝い関係はうちがしておりましたので、よろしく申し上げます。

○市川委員長 当副委員長さんが、特に小学校、中学校のまとめ役で先ほど委嘱されましたが、中学校のほうは弓道中心と、あるいは小学校のほうについてはスケートということで、リハーサルについては担当いただいたわけですが、先生のほうからも一言何かお願いします。

○副委員長 初めまして、よろしく申し上げます。私は中学校1年生のときに、たしか岐阜国体がありました。そのときに、山岡町ですので全員中学生のほうまで、炬火リレー、旗か何かを持ってランニングシャツを着せてもらって走った覚えがあります。そういう国体というのが子どもに、私はいまだに覚えている。そんなようなことですが覚えていられる。そのことをきくと今恵那市に住んでいる小学生、中学生は今度のスケートと弓道を参加することでずっと心に残っていくことになるんだろうなというふうに思って、今、公聴会のほうでも学校割りをしながら、この日に参加させようというようなことでやっております。

やりながらいろんなことを感じているわけですが、この前のスケートのプレの大会ですか、あれがあったときには、私は小学生と一緒に参観しました。そのときに、子どもたちはどの人が岐阜県の人か、どの人がどの県の人かということがわからないですね、・・・だけですと。そういうことで、どうするかなと思って見ていたら、赤が好きやで赤を応援しようかなとか、僕は青がいいとか色で応援しているというかわいい自治体がありました

が、そういう何と申しますか、どんなふうに参加してもきっと子どもはそれぞれの思いを持って記憶に残しているとは思いますが、子どもがより応援しやすいと申しますか、そういうことって何かできる方法がないのかな。スケートはこの岐阜県の中ではクリスタルパークのおかげもありますし、今までの関係の方々の努力もあって、この恵那市が岐阜県中の一番スケートの盛んな地でありますし、中学校の校長、岩村中学校でやっているときには、岩村中の生徒あるいは西中の生徒等が全国大会にも出て行くということでやっているわけです。スケートでは、岐阜県では恵那市には勝てないというぐらいのところがいいですね。そういうことをぜひアピールして、スケート場へ市民の皆さんが大勢集まれるようなふうに学校としても協力したいと思いますし、学校からの通信等でも呼びかけていきたいという思いではおります。

今思っているところはそんなことですが。今の話題に合っているかどうか分かりませんが。

○市川委員長 ありがとうございます。今のお話を聞いておる中で、小学校及び中学校の観戦ですが、去年は、これは事務局のほうから各学校にご連絡いただいたほうがいいと思いますけれども、出席している各学校の先生の配慮といいたいまいしょうか、完全な防寒体制で見学をするようにという学校もあつたり、あまりそう変わらないような状態で寒々と震えている小学校もいたと。この辺のところは、防寒対策についてはやっぱりきちんと防寒をして観戦をするということを指導いただくと同時に、以前も何かで申し上げたんですが、コンクリートの上でしかも昼からになると日陰になってしまうと、非常に寒い状況ですので、何らかの暖をとる方法、例えば大きい温風送風とかそういうものによって、多少は極寒から少し防げるような工夫を、本来なら全体をガラスで覆ってしまって非常にいい環境で見ていただくというのが大事だと思いますが、この大会だけに合わせて県がそれほど英断を振るうわけじゃないと思いますけれども、私申し上げておきたいのは、こういう大会が常に、スピードスケートだけは恵那市がどこの大会であつても引き受けると。常時開催ができるというんだつたら、釧路だとかあるいは八戸なんかの大会の回数を見ても、他の国体の会場をわざわざここに持ってきてやっているのと。同じように、恵那市のクリスタルパークもよその県の大会開催においても、恵那市のスピードスケートだけは持ってこれるような、将来展望を考えた観客の環境をよくする、これひとつ事務局のほうも考えておいていただきたいということと。

来年それが間に合わないというふうに思いますので、暫定的なやっぱり暖をとる方法と、

参加をされる見学をされる小学校、中学生の方には完全な防寒体制で見学いただくように
ということ、周知を図っていただきたいと思いますので、今気がつきましたのでちょっ
と申し上げておきます。

後ほど自治連合会等については別途会議を持ちたいというふうに会長さん言ってみえ
ますので、その中でさらに具体的にまた議論をされると思います。

どうですか、今この段階でご質問なりご意見ございますか。

それではもう一つ、グッズの関係について提起がされております。開催の4日間とい
うのは土・日でありますか。

○事務局 土・日・月・火。

○市川委員長 土・日・月・火ということなものですから、観戦のしやすい動員というの
は土曜日と日曜だろうと。月・火は多少その点は減ってくると。種目もだんだん決勝に向
かっていくわけですので、選手も帰ってくるしだんだん会場は寂しくなっていくわけです
が、そういうところにおけるバザーの張り方について、皆さん方が例えばどのような考
え方を持ってみえるのか。たしか、ことしの1月はあまり人目につかないところでもてな
しのゾーンと、今のバザーのゾーンがあったわけですが、今回は、入ってすぐ左側の駐車
場のところにそれを設置していただいたことですので、ことしの1月よりもお客さんの入
りはいいのではないかなというふうに思っていますが、その点についてご意見があったら
お願いしたいと思います。

ひとつ事務局のほうにお尋ねしたいのは、東北6県のグルメというのは13地域のバザ
ーの中に含めることなのか、それはそれで別としてバザーをやるのか、その辺をまず教え
てください。

○事務局 こちらが考えている思いとしては、まずは核の部分は13地域のバザー、これ
はもう一番中心になるというふうに考えています。その味つけというか多少目玉的など
ころで東北6県、ほかのブロックのほうがいいかもしれませんが、それも検討しなくては
いけないんですが、そういったものを付加するという、こういう感じで思っております。

土・日・月・火ですので、その辺の・・・の中で、やっぱりどうしても土・日に集中する
ということもありますので、月・火をどうするという中で、例えば、道の駅のほうで、平日
のほうを少し多く賄っていただくとか、どの方でも土・日のほうがいいわけですので、こ
れからいろいろなことを調整したりお願いする中で、まだどの辺に落ち着くかわかりませ
んが、やっていきたいという考えです。

○市川委員長 実施をするとすれば、東北6県の販売のメンバーはどこがおやりになるのか。

○事務局 前、先ほど言った名古屋のほうで話をしてきたのは、ある程度こちらの条件を示して、今のセンターに入っている県のほうに呼びかけるという点です。例えば、スペースはどのくらいだとか、排水はどうなっているかだとか、入るための負担金はどうだとか、そういった条件を示して募るとい形になりますね。そういう中で、例えばラーメンが入ったりだとかそばが入ったりだとか、そういうことになります。ただ、そんなに多くは見込めないというふうに考えておきまして、最大でも6品ぐらい、あるいはもう少し少ないかもしれませんが、そういったものを少し付加したいという、こういう考え方です。

○市川委員長 東北6県の仮称の名前が上がっておりますようなことをやるというのは、その関係団体と事務局がすべてということですので、直接、当委員会といたしましては、13地域のバザーの出し方についてということになるかと思えます。若干、今お話を聞いたように、とりわけ土曜日・日曜日を中心としながら、月・火、少し暇になるところはやっぱり道の駅などの関係者の協力を得て行っていきたいというような大筋そんな考え方ですが、ご意見や質問ありませんか。

菱川さん、どうぞ。

○菱川委員 4日間を13地区のバザーが出るということになりますと、かなり材料というか、何人前というかたくさんを揃えないかんのですが、支度金のようなものは出るということをお聞きしておったんですが、幾らぐらいを予定しておりますか。

○市川委員長 事務局、お願いします。

○事務局 リハーサル大会のときは、こういう方法をとりました。物産のほうはもう定価で出ますので問題がないと思いますが、問題は食べ物ですね、そこで調理をしてその場で出すというようなものですが、余った場合どうするんだというようなところで、弓道のリハーサル大会では、余ったものの材料費は補てんしますよと、こういうことにしました。ただ、さらにたくさん余ってしまっても、これもどうしようもないことですので3日前ぐらいに、本当に現実の数をそれぞれのバザーの出店の皆さんにお知らせいたしました。大体、目標はこうだけど現実はこのぐらいなので、このぐらい予定していただけるとありがたいですよというようなお知らせをいたしました。その結果、大体のところは売り切れていたような状況でしたが、少しのところは補てんをしたというような状況です。どれくらいだったかな、余ったの。わからないかな。

○事務局 補てん額ですか。総額で3万円ぐらいだった。

○事務局 今、総額で3万円ぐらいだったということですので、リハーサル大会ではそのようなところで落ちついたようです。今回、自治13地区にお願いするに当たって、まだ本当に負担という形が必要なのか、あるいは売れ残った場合の補てんという形がいいのか、その辺もすべてこれからで、いろいろご相談しながらやっていきたいということです。何とか実現ができるような方法で私たちも精いっぱい努力したいと思いますので、お願いいたします。

○市川委員長 ほかがございませんか。河村さん。

○河村委員 今の会場ですが、ことしの1月のあの会場を、まあ下の段で使用して、今度は上の会場にということになった場合に、13地域のスペースは、例えばテント1つぐらいをやれるという状況なのか。ボランティアでお茶入れをサービスした、あのテントはどこへ持っていかれるのかということと、あの上の会場はどのぐらいのスペースでできるかなと思うんですが。

それともう1点、ちょうど1月ということで非常に品物のないときですので、それぞれの地域が同じものを出すようなことになっていってもいかんし、そこらあたり農産物はほとんどありませんので加工品だとかそういったものになると、同じぐらいの・・・します。そのあたり、きょう相談する予定ですけども、頭の中でどういうふうな格好のシュミレーションになるのかなというのがちょっと頭の中でわかりませんので、事務局、例えば会場は、13店舗がこういう格好であれでというような、そういうことは計算してあるかどうか。

○市川委員長 駐車場の配置ですね、もてなしとバザーの配置はどんなふうになっているかということです。

○事務局 そうですね。まだ本当の詳細はこれからというのが正直な話です。ただ、大体こんな感じかなというようなところで言いますと、例えば駐車場では玄関、まあ門ですね、門から入って右側にセンターの建物があって、左側に駐車場が段差になって下に下りていくというような状況ですけど、その一番上の段をバザーのスペースにしたらどうかというところでありまして、今のところ場合によっては、入ったすぐのところの駐車場とその奥の同じ平面のレベルの駐車場と、その2面ぐらいを使う必要があるかなということも検討しています。そこに交流広場ということで、バザーと休憩するところを設けていくわけですが、その配置についてはバザーと休憩所が一体となっているのが一番本当はいい方法なんですけど、スペースの中で何店舗とか、そういったことも考えながら検討していきたいとい

うことで、オーソドックスにいうと、例えば13地域でいうと13のテントが並ぶような形が一番オーソドックスな方法ですけれど、場合によってはもう少し大きなテントの中に一緒に入るとか、いろんな方法があるかと思imasuので、費用の関係があるかと思imasuので今何とも言えませんが、いろんな方法を費用のことも考えながら検討していきたいと思imasu。

○市川委員長 ほか、よろしいですか。

グルメの関係におきましては、ちょっと今までのところを整理させていただきますと、スケート大会は土・日・月・火の4日間ということです。13地域が中心的にバザー等を出していただくのが土曜日・日曜日が中心になり月・火については道の駅などの関係者の協力を得たバザーにしていくということで。それから仮称ではありますが「復興支援・がんばろう東北！大グルメまつり」につきましては、事務局と関係団体との協議の中で考えていきたいと。そして今のレイアウトですが、入って最初の上の段の駐車場の西側のほうを13地域グルメを中心とした配置、さらに東地域については、これはもてなしでしたか。

○事務局 そうですね……。

○市川委員長 とか、何か広場的なものも含めながら、上の駐車場両面を使って今申し上げたようなことを進めていきたいということでございます。

○事務局 すみません、1点だけ。ちょっと私、言い過ぎたのがあるかと思imasuが、今できれば土・日を13地域ということなんですけれど、道の駅もまだ現実に駅自体と話をしているわけじゃないんですね。そこもきっと土・日のほうがいいというような話が出てくるかもしれないんです。それから、今現実、道の駅というのは月曜日が休みなんですよ。なので、こちらが勝手に月・火などと言ってますけれど、現実調整していく中でいうと、道の駅のほうも土・日のほうがいいよという話になってくれば、その13地域のほうも土・日だけではなくて月・火のほうにも広げていただいて、いろんな調整をこれからしていくという、そういうことが出てきますので、本当にまだこれからということですので、お願いいたします。

○市川委員長 きょうのところは大筋ということで、今後ともそれぞれの地域が各団体とは詰めさせていただきながら4日間のグルメ及びバザーについての配置について考えていきたいと、今後さらにまた詰めさせていただくということを皆様方に申し上げておきたいと思imasu。これでは、一応数値目標についての事柄もこれからの課題ですし、グルメについてもそういったことで大筋考え方だけは示されましたが、まだ中身的に詰めていかな

ければならないということになります。

そして、4番目に数値目標と・・・駐車場とか交通対策等につきまして、クリスタルパーク周辺というのは約400台ですが、これにつきましては競技会の選手とか役員の関係ということが中心的になるということですし、一般的なことやあるいは応援ボランティア中心とした関係者につきましては、工業団地のほうに3,000台用意し、会場との間をシャトルバスで運ぶということを示されています。

4につきまして、何かご質問ございませんか。

それでは、協議2につきましては、主要3点について一応お話をさせていただきましたので、今後ともさらに内容的なものにつきましては詰めさせていただくということで、協議事項第3のほうに入らせていただきますのでよろしくをお願いします。

それでは協議3について事務局のほうでご説明をお願いします。ミナモ体操、そうか。ちょっと頭の血流をよくするためにミナモ体操をするということですので、ひとつお立ちいただきたいと思います。

～ミナモ体操～

○事務局 少し当たらないところまで広がってください。スクリーンで映しますので。

それでは、こちらうしろのほうDVDで映像のほう見ながらやっていただきたいと思います。それではお願いします。

(音楽・音声)

○市川委員長 ご協力ありがとうございました。

それでは、協議事項3に入ります。事務局をお願いします。

○事務局 事務局の大島と申します。よろしくお願いいいたします。

協議事項3、12ページのほうをご覧ください。事業計画の進捗と今後の重点計画についてということで、こちらの計画のほうは4ページにわたって、少し資料の字が小さくなっておりまして申しわけありませんが、計画のほうを記載させていただいております。

こちらの計画につきましては、この総務・広報・市民運動専門委員会が結成された際に、委員の皆様から意見を出していただきまして、それをもとにこの計画を作成しております。区分としましては、啓発・広報・PR、そして市民運動の推進、恵那の魅力を発信、心温まるおもてなし、みんなのスポーツの推進と、こういった区分でそれぞれこんなことができたらということで、またそれを実現させましょうということで進んできているものにな

ります。

この計画におきまして、平成22年度までの進捗状況、そして平成23年度以降の計画ということで、特に重点的なものを塗りつぶして記載しております。

啓発・広報・PRの部分におきましては、諸団体への周知ということで、おおむね国体があるということに関してはさまざまなPRを通して伝えられたのではないかなと思っておりますが、その団体、自治会・地域協議会、そういった団体のほうに出向いての説明というのはまだ一度も行っておりません。いよいよ本国体、冬季国体が始まっていく中で、そういったものは大変必要であるということで競技会の観戦方法の説明であるとか、国体の魅力などの説明につきまして、これからもそういった団体の会議等に足を運び、また来ていただくようお願いをしていくということを重点としたいと思っております。

また、中段、ミナモ運動でのPRということに関しましては、ただいま皆さんにはミナモ体操をやっていただきましたが、この体操のほかにミナモダンスというものもございます。この体操とダンスを、運動会ですとか各地域のお祭り等に取り入れまして、13地域1PRというのを行っていきたいと思っております。現在、保育園、幼稚園、そして小学校等を中心にこのダンス、また諸団体等でこの体操などを取り入れていただいておりますので、そういったことで国体の機運を高めていきたいというふうに考えております。

また、13ページにおきましては、その他交通要所でのPRということで、旗並み作戦、のぼり旗設置箇所の増加ということで、こちらは後ほど協議4のところの皆様にご協議いただくこととなりますので、その際またご検討をお願いしたいと思っております。また、のぼり旗以外にも、これも実はついてしまっておりますけど、国道19号のカーマの前の歩道橋が新しく設置された交差点、こちらのほうに設置をしておりますし、また駅の階段等にもPRのものを張り付けるなどして、より多くの方に国体を目にしていだけるような、そういった取り組みを進めてまいりたいと思っております。

また、13ページの下の方、右手のほうになりますけど、市民運動の推進ということで13地域での国体推進、1地域「1PR・特産品・1自主事業」、地域内美化活動、花いっぱい運動ということで、全日本勤労者弓道選手権大会におきましては、皆様方に本当に一生懸命花を育てていただきました。プランターもそうですし、地域の花壇のほうですが花いっぱい運動、本当にありがとうございました。また、地域清掃においても、勤労者弓道選手権大会に向けて計画してくださった地域も複数ございました。あいにく台風とい

うことで延期になってしまった地域もございましたが、国体を契機に、その付近に地域の清掃活動をずらして、きれいな恵那市のもてなしをしようというようなこともテーマとして挙げられていましたので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。また、各地域の取り組みということで、とにかく住民参加、市民総参加ということですので、こちらを重点としたいと思います。

また、その次の、ボランティア活動の推進ということで、現在、登録ボランティアを500名を目標に動いております。この500名というのは、恵那市民の大体1%に相当する人数となります。現在、340名ほどの登録をいただいております。また、これは後ほど「その他」のところで詳しく説明をさせていただいて、またお願ひをさせていただこうと思っております。

続いて、14ページのほうにお願ひいたします。「心温まるおもてなし」のところになりまして、さまざまなPR看板ですとか誘導看板、いろんなものでおもてなしをしていこうということの中で、先ほど協議2のほうでも出ましたが、やはり13地域の味で皆さんをおもてなししましょうということです。その中では、おもてなし汁物の配布や売店設置というものが中心となっております、汁物におかれましては、ハンズ武並さんですとかスポーツネットいわむらさん、山岡レディースネットさんにこの2大会の間には参加していただきました。また、その団体の方も、それ以外の団体の方も、4日間ありますので、恵那市のおいしい味をおもてなししたりですとか、そういったものを全国に発信していけるような取り組みというのを重点としていきたいと思っております。

最後、15ページのほうですけど、やはりスポーツのイベントということで、国体を契機にもっと皆さんもスポーツの振興にならなければいけません。その関係で、スポーツキャラクターを生み出したりだとか、それからスポーツポイント制度、スポーツするごとにポイントがもらえまして、そのポイントが何かに換えていけるというものを昨年度スタートいたしまして、今、試行運用中で運用しております。こういったものがもっとも浸透して、恵那市のスポーツにかかわる人口が増えていくということが一番望ましいということで重点とさせていただきました。

説明は以上となりますが、何分この計画のほうは、総務・広報・市民運動専門委員会が立ち上がったときにつくった計画であります。新たな委員さんも加わりまして、この計画について、この平成23年度以降の重点ですが、今説明させていただいたとおりでよろしいのか、まだまだもっといろいろ方法があるのか、ご討議いただけたらと思っております。

以上です。

○市川委員長 はい、ご苦労さまでした。

当委員会の事業計画の進捗ということで、5つの区分に分かれた内容を平成22年までの状況と本年度23年以降の計画について、とりわけ一番身近な部分で網のかかっているところがありますが、主に今5つぐらいの中身だろうと思いますけれども、本日委嘱をされた方を含めて、内容がまだわからないとかいろんな事柄があるかと思しますので、この点につきましては、23年はとりわけこのようなことを進めていきたいということでございますが、その内容につきましてご質問がありましたらどうぞ。

はい、・・・さんどうぞ。

○委員 これは提案で、できるかできんかわかりませんが、今、これから運動会とか、子供のときにミナモの体操をやるということをおっしゃっていただきましたが、今学校のほうもそういう格好で準備しておられますが、例えばアミックスを活用して、夏休みの朝7時でも8時でもいいんですが、時間に、今のミナモのビデオを流してもらって各自で皆やっていたら、やるやらん人もあるかもわからんが、何時にやるからみんな体操してくれというような何かそういうことはできんでしょうか。

○市川委員長 事務局のほうでちょっと……。

○事務局 ただいまのご意見ありがとうございます。

今、アミックスのほうではミナモダンスを、これはアミックスの都合のいい時間となってしまうんですけど流させていただいております。そういうことで、アミックスのほうも番組の合間ということで放送の枠を取って流すことは可能ですので、体操のほうもぜひ夏休みの体操ということも考慮し、相談をしていきたいと思っております。ありがとうございました。

○委員 連絡しなならんね。連絡しないと、うちの自治会を通じて、何時にやるからと言ってくれとか。ただ流すだけでは何にも。

○市川委員長 おおむね番組の枠のうちの、例えばどういう時間帯に放送しているかと。結構あれ重複的にやっているでしょう、いろんなやつを。だから、大体何時ごろと、何時ごろの時間帯ということだけ周知させてもらえれば、今のアミックス体操も取り入れるんじゃないかと思えますね。もしも、そのことが実現したら一回周知を図っていただきたいと思っておりますのでお知らせください。

ほかありませんか。はいどうぞ、田中さん。

○田中委員 ボランティアの登録なんですけど、最初できたときからのボランティアで500人ですね。そうですか。もし、・・・にボランティアの用紙もらって、私たち配布いたしまして、振興・・・経由のボランティアの登録者の数なんですけど、ポストに入れたり直接お渡しされた方があると、多分、地域協議会だとか自治会ではボランティアの数が正確に把握できてないと思います。できたら地域のボランティアの数を正確に教えてほしい。そうでないと、重複してまたお願いするということにもなりかねませんので、そこら辺ちょっと教えていただきたい。

○市川委員長 事務局どうぞ。

○事務局 そういったところをもしかしたらおっしゃられるかという想定のもと、本日ボランティア名簿を各地域別に持ってまいりました。後ほど、個人情報ということもありますので取り扱い注意していただきまして、その名簿をお渡しいたしますので、その名簿にある方ない方を見ていただいて、また今後ボランティア募集に協力をお願いできたらと思っております。

○市川委員長 ほかがございませんか。

はい、橋本さん。

○橋本委員 ボランティアなんですけど、一旦ボランティアに登録すると何をやらされるかということがわからないので、やっぱりちょっと怖がってみえる方があるんですね。だから、ある程度限定したボランティアでどうしますというところもつくっていただけると非常に進めやすいかなと、こういうふうに思いますのでよろしく願いたします。

○市川委員長 はい、事務局。

○事務局 現在、ボランティアのほうなんですけど、お手元のほうに封筒をお配りさせていただきました。一部ない方もありますので、また後ほどその他事項でボランティアのお願いをさせていただく予定でありましたので、ちょっと置かせていただいたわけですが、今4つの部分でボランティアのほうを募集させていただいております。本来、この形で競技運営のボランティアであれば競技運営、大会運営のボランティアであれば大会運営、PRのボランティアはPRということで進むような計画で、実行委員会は設けております。

しかしながら、大会にかかわっていただく当日のボランティアの登録が少ないのが現状であります。PRということなら協力するよと言っていただいて登録していただいた方にも、当日大会でご協力いただいているのが現状であります。ボランティアというものの自体が、自分の思ったことを自発的にできるだけやっていただくというのがボランティアにな

ります。こちらの都合で大会にもご協力いただければということで、うちのほうから発送させていただいておりますが、ご本人さんの判断でご協力いただければ丸をつけていただきまして、そこまではということであればバツをつけて返していただければというような思いで、今交渉のほうをさせていただいております。そういうことでよろしく願いいたします。

○市川委員長 この用紙には、希望するようになってますので、大体わかっていただけると思います。ほかございませんか。

それでは、とりわけ今回の23年度は、5点ごとについて重要な課題ということで、特に網のかかった部分については力を入れて進めると。皆様方におかれましてもぜひご協力をいただきたいと、こんなふうに思います。

ほかに質問等がなければ次に移りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、協議事項の4について事務局説明をお願いします。

○事務局 国体推進本部の秋山です。よろしくお願いいたします。

先ほど協議事項3でご説明しました中のPR事業「旗並み作戦」についてご説明をさせていただきます。

のぼり旗の配布と設置について。ぎふ清流国体の事務局におきまして、下の表にあるようにPRののぼり旗を設置しております。しかし、事務局で設置するにはやっぱりできる場所とできない場所ということで場所が限定されておりますので、国体を盛り上げるためのぼり旗を設置するのを地域協議会、自治連合会の各地区の皆さんにご協力いただきまして、各地区、弓道のほうで10本、スケートのほうで10本ののぼり旗をこちらのほうに揚げて、きょうは設置させていただいておりますけども、弓道ののぼり旗を10枚、スケートを10枚各地区で設置していただきたいと思っております。配布物ということで、旗が各10枚ずつポール20本、・・・・100個になりますけど、その旗を縛っていただくひもというか簡単なものですので、これで縛っていただくと簡単に縛れますので、各地区に2袋200本をお渡ししまして、設置していただきたいと思っております。

後ろほうに、各地区と振興事務所等で設置している場所につきましては、・・・・設置されているのをいろいろと承認させていただいておりますのでよろしくお願いいたします。設置後について地区で管理をしていただくようお願いをしたいと思っております。設置していただきまして旗が破れたりした場合はありましたら、推進本部のほうにご連絡いただければ破れた旗の代わりを持って伺いたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。お願

いすることばかりで誠に申しわけありませんですけども、よろしく願いいたします。

渡す日時ですけども、次回の広報・市民の会議のときに各地域協議会もしくは自治連合会のほうの・・・の方に通していただいておりますので、よろしく願いいたします。

○市川委員長 16ページは特にスケートと弓道ののぼり旗を10枚ずつ各地区の中でお願いをしたいと、こういうことですが、一覧表につきましては、既に設置をされている数ですね、弓道が127、スケートが90ということで出されておりますが、特にこの新しい本大会に向けたのぼり旗につきましては、ちょっと事務局にお尋ねしますが、こののぼり旗の色褪せたようなやつはどうかと思いますので、この辺をあわせて、これ半年ぐらいいいんですか。

○事務局 はい。

○市川委員長 そうしますと、大体スケートについては、ことしの8月から9月ごろから掲出する。そして、弓道については明年というか、両方一遍にということじゃなくて、今回配布するものは全体的にはスケートを先にやる。そして年を超えて、弓道大会は10月開催ですから、大体5月ごろから掲出するというようなことでいいですか。両方とも面倒くさいから全部やっちまえというならば、スケートも弓道も一緒なんていうのはわかりませんので、大会順からのぼり旗を掲出すると。大体色褪せておったんじゃ申しわけないので、多少当日までに色褪せないような状態が半年ぐらいということですから、5カ月前ぐらいから掲出をしていただければ大会当日までのぼり旗があまり色褪せていないと、こういうことだと思いますので、そういう考え方の中で掲出をしていただきたいということと、このグッズの扱いにつきましては、今秋山さんのほうからおっしゃったように、次の委員会のときに配布するというのでいいのですか。

○事務局 はい、そういうことです。

○市川委員長 次の委員会を……。この配布物については次期総務・広報・市民委員会のときに配布をすると、こういうことをございますのでよろしく願いいたします。

このことについての質問、意見ございませんか。よろしいですか。それでは、協議4については終わってまいりたいと思います。

6 その他

○市川委員長 それでは、その他の項につきまして2つございますが、それぞれ事務局か

ら提案してください。

○事務局 それでは、17ページをお願いいたします。ぎふ清流国体総決起大会のご協力についてということでございまして、こちらのページには、本日お越しいただいております自治連合会の会長さんと地域協議会の会長さん宛に、各地区の会長さん宛に同じ文書をお渡しさせていただいております。

まず、総決起大会でございますけれども、7月30日の土曜日でございます。午後1時30分から1時間30分程度の予定で恵那文化センターの大ホールで行います。この大ホール、去年の場合、約700名の参加をいただいておりますけれども、もう少し市民の皆さんに国体を盛り上げていただく、景気づけをしていただくということで、できれば満席にしたいというふうに考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

内容といたしましては、まず、恵那市実行委員会の総会を簡単に、実行計画10分から15分で終わらせていただきまして、その後、国体ソングであります「はばたけ、未来へ」の合唱。これは恵那校の音楽部の皆さんにお願いをしております。これを皆さんで歌っていただけたらと思っております。また、恵那の各バザーの団体がございましてけれども、このバザーの団体と長島小学校の児童さんのジョイントによりますミナモダンス、それから弓道とスケートの競技の紹介、また簡単な観戦方法なんかをできたら見ていただきたいと思っております。それと、弓道、スケートにおきます強化選手がおります。まだ国体選手が決定しておりませんので、強化選手の、恐らく国体選手になろうと思われる方に来ていただきまして、国体に対する決意表明をしていただき、私たちはそれに対してエールを送ろうというような企画をもっておる予定でおります。

それで、今、当然実行委員会の委員さん、専門委員会の委員さんもそれぞれにご案内をさせていただきます。ぜひ出席をしていただきたいわけでございますけれども、何せ会場を埋めるために、今、地域協議会のほうにはそれぞれ各地区で10名から15名を動員をお願いするというような形にしております。できれば委員の皆さんにおかれましても、一人二人声をかけて一緒に来ていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○市川委員長 これは、17ページに書かれております内容でございますので、今、事務局がお渡しされておりますように、多くの方にご参加をいただくということでご配慮いただきたいと思ひます。

それでは、次のその他の項で事務局説明をお願いします。

○事務局 ミナモエナジークラブ会員の募集についてということで、先ほど少し触れさせていただきましたが、皆さんのお手元にボランティア募集のチラシ、それから申し込みになるはがきを配布させていただきました。各地域での募集、そして商工会議所の皆さんや、それから青年会議所の皆さん等にもご協力いただいております。ボーイスカウト連盟の方につきましては、もう団体で既にご登録をいただいております。ありがとうございます。用紙のほうだけ配らせていただきましたので、また追加で個人的にもやりたいという方等ございましたらご紹介いただけたらと思っております。

また、用紙のほうですが、各地域協議会、自治連合会の皆様には10枚ずつお配りさせていただきましたが、足りないということであればまた追加でお送りさせていただきますのでよろしくお願いたします。

また、名簿のほう先ほどお配りさせていただくというお話をさせていただきましたので、お帰りの際、受付にて、ご希望の方は、今現在その地域でどれだけの方が登録されているかという名簿をお渡しいたします。取り扱いに十分注意していただいて、募集のほうご協力いただけたらと思っております。

以上です。

○市川委員長 ボランティアの募集が、この紙にありますように500名というのは、新たに500名ということではなくて、あと150名程度ということになるかと思っております。そうしますと大体500名になる。ひとつ皆様方のほうに入っております資料を活用いただいております。ご協力をいただきたいと思います。

その他事務局のほうはありますか。皆様方のほうでその他何かありますか。よろしいですか。

○委員 すいません。資料ですけど、これは各振興事務所には行きますか。我々だけでしょうか。

○市川委員長 はい、事務局。この資料は振興事務所へ行きますか。

○事務局 これ、振興事務所のほうにも一部お渡しするようにしますのでお願いたします。

○市川委員長 それから、きょうはスケート大会の開催地は、地域協議会も来てみえないので、個別できちっとお話をさせていただくように。知らなかったで・・・ので、お願いします。

あと、私のほうから、この会議終了後、恵那市自治連合会の理事会をこの場で行うとい

うことでおっしゃっていましたので、自治会の皆さん方はお残りいただきたく。

それでは、閉会のあいさつは恒例によりまして。

○事務局 すいません。1つだけお願いします。申しわけないです。簡単に終わります。

皆さんに、これ、弓道選手権大会、弓道の楽しみ方という観戦ガイドをお配りしたんですけれども、今回の大会で。スケートするときにはお配りをしませんでした。どのような競技なのかがわからないということで、急遽この大会から配ることにしました。わかりやすいようにつくってあるとは思いますが、どうしても特別な言葉とか表現が出てきますので、もし、きょうじゃなくて結構ですので、こういうところをこういう表現に直したほうがもっとわかりやすいよというようなことがありましたら、また国体推進本部のほうに教えていただいて、国体のときには皆さんにわかりやすいように見直して皆さんにお配りしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○市川委員長 スケートのほうも出されますか。

○事務局 はい、スケートのほうも考えておりますので、お願いします。

○市川委員長 わかりました。お目通しいたいて、少しわかりやすいような表現がいいんじゃないかというご意見がありましたら、直接事務局のほうにおっしゃっていただきたいと思います。

それでは、閉会のあいさつ、お願いいたします。

7 閉会

皆さん、きょうは慎重な協議をありがとうございました。また、事務局の方、大変な準備ご苦労さまでした。皆さんのお力でいい国体が準備できますように、次へ進んでいきましょう。ご苦労さまでした。閉会いたします。